

東京皆実有朋会



ふおーらむ

No.3
1998.7.20

編集：東京皆実有朋会ふおーらむ委員会

発行元●東京皆実有朋会 会長 石橋佳子 事務局 〒152-0003 目黒区碑文谷3-18-15 内野方

今年の総会／懇親会は10月17日です あなたの一番大切な仲間が集う日です



新設された全天候型陸上レーン



第51回県総体 110m障害大会新の澤池君
H.10.6.1「中国新聞」提供



県女の門柱と碑



皆実高校正門風景

「同窓会幹事の宝物」 ————— 皆実21期 池田 博明

部屋の隅に段ボールの箱が一つ置いてあります。それは昨年、担当期の有朋41・42期、皆実20、21期幹事の一人として「集い」の準備を行った時の記録と資料。私の宝物です。宝物の筆頭は、返送していただいた葉書の束です。「集い」のご案内に対する返信葉書を整理する仕事を担当した関係で、皆様のお葉書を直接拝見出来ました。頂いた内容は、資料化し今期に引き継ぎましたが葉書は保管しています。通信欄に記載された内容は多様です。リタイア後の新しい人生を始められた先輩。ご家族の方からの亡くなられたというご連絡。海外を含め様々な分野でご活躍中の皆様からのお便りもありました。

同窓の皆様一人一人に暖かいお声を掛けていただいたという思いで、随分励みになりました。こうした束の他に、この箱には昨年度の打ち合わせ記録も入っています。担当期や本部役員の方々の打ち合わせの後で自然発生した、子育てに関する情報交換の場は、医療・対人援助方面で活躍している同期生の力を目の当たりにした貴重な経験でした。議事録を読み返すと情景が鮮やかによみがえります。短い間でしたが多くの方に助けて頂いた活動の記録と記憶が、部屋の隅に積み上げられています。

若い方々にもうまく伝わってほしいと思う、幹事の宝物です。